

# 太陽黒点観測報告

2024年 2月

観測者 : 村上昌己

## 1) 概況

今月は、寒気の南下がたびたびで、南岸低気圧も通過するようになり、天気の変化は早く、気温の高低が大きなヶ月であった。関東南部では雪になったのは5日だけで、ほとんど積雪にはならなかった。中旬はやや晴天傾向だったが、下旬には雨が降ることが多くなって、観測日数は18日間に留まった。

黒点活動は、先月よりは穏やかになったが、X線フレアの発生も多く、活発さが続いているようである。特徴的な黒点群としては、上旬に南半球の高緯度に見られたAR#13575に活動した群で、観測が少なく追跡できなかったが、発達傾向で8日に西没して行き、9日には裏側でX:3.4のX線フレアを発生させた。5日頃に東出したと思われる南半球のAR#13576に活動した大型群は、10日にはMクラスのX線フレアを頻発していたが、西縁に達した16日には、X:2.5のX線フレアを発生して西没していった。また、北半球のAR#13590に活動した大型群は、19日に東出後に中央に達する頃まで発達をして大きな暗部を持つようになり巨大な黒点となった。20日からX線フレアを連発して、22日UTにはX:6.3のX線フレアを発生させた。やや衰えながら西進を続けて、三月始めに西没するまで大きな姿を見せていた。南半球高緯度に観測された上述の群は、下旬には回帰群として東出している。今期は第2280~2281周期の観測だった。私の所では、北半球に16群、南半球に21群の新しい黒点群を観測した。

## 2) 日別観測記録

日付 Date	時刻 JST h m	北半球 N. Hemisphere		南半球 S. Hemisphere		全面 Whole Disk		中心帯 Central Circle Z		相対数 Relative Number		視相(/5) Seeing Trans- parent		肉眼黒点群 Group observed by the naked eye N S Group Number	天候 Weather
		g	f	g	f	g	f	g	f	W. D	C. Z				
01	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	曇
02	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	曇
03	10 40	4	29	4	25	8	54	4	18	134	58	2	3-4	--	快晴
04	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	曇
05	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	曇→雪
06	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	曇
07	10 25	2	6	7	58	9	64	3	11	154	41	2	4	--	快晴
08	10 30	2	8	8	77	10	85	4	45	185	85	2-3	4	--	快晴
09	11 50	2	4	4	50	6	54	4	47	114	87	2-3	4-3	--	快晴
10	10 40	3	8	5	80	8	88	3	77	168	107	2-3	3-4	--	快晴
11	11 30	2	22	5	56	7	78	3	63	148	93	2	2	--	曇/晴
12	11 05	3	42	5	47	8	89	5	60	169	110	2	3-4	--	快晴
13	11 10	4	56	4	43	8	99	5	58	179	108	3-2	4	--	快晴 強風
14	10 25	4	45	4	34	8	79	4	39	159	79	2-3	3-4	--	快晴
15	10 20	5	37	5	31	10	68	3	17	168	47	3-2	3	--	晴 春一番
16	10 30	5	30	5	23	10	53	3	10	153	40	2	4-3	--	快晴
17	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	曇
18	11 35	2	19	3	12	5	31	2	10	81	30	2-3	2-3	--	曇/晴
19	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	曇/雨
20	09 30	2	19	2	3	4	22	0	0	62	0	2	3-2	--	晴→曇
21	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	曇/雨
22	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	曇/雨
23	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	雨
24	10 55	4	46	3	5	7	51	1	35	121	45	2-3	3-4	--	快晴
25	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	雨
26	11 10	5	62	2	11	7	73	1	37	143	47	3-2	4	--	快晴
27	11 00	4	66	2	9	6	75	3	9	135	39	2	4	--	快晴
28	10 45	4	72	4	13	8	85	4	22	165	62	2	3-4	--	快晴
29	10 40	5	65	2	7	7	72	5	34	142	84	2-3	2-3	--	曇/晴

合計 62 636 74 584 136 1220 57 592 2580 1162 -- (---/ 0日)

相対数(10g+f)	1256	1324	2580	1162
日平均相対数	69.8	73.6	<u>143.3</u>	64.6
相対数活動比	48.7%	51.3%		45.0%
相対数前月比	+0.8%	-3.3%	-1.4%	+6.4%
日平均相対数 修正値 (k=0.6)	41.9	44.1	86.0	38.7

観測日数 18日

観測地 : 神奈川県横浜市泉区和泉中央北 (北緯 35° 25.2' 東経 139° 29.4')

使用機器 : 10cm屈折望遠鏡 (f=1200mm) 48倍 15cm投影、80倍、96倍にて拡大スケッチ・黒点数カウント

### 3) 黒点群活動表

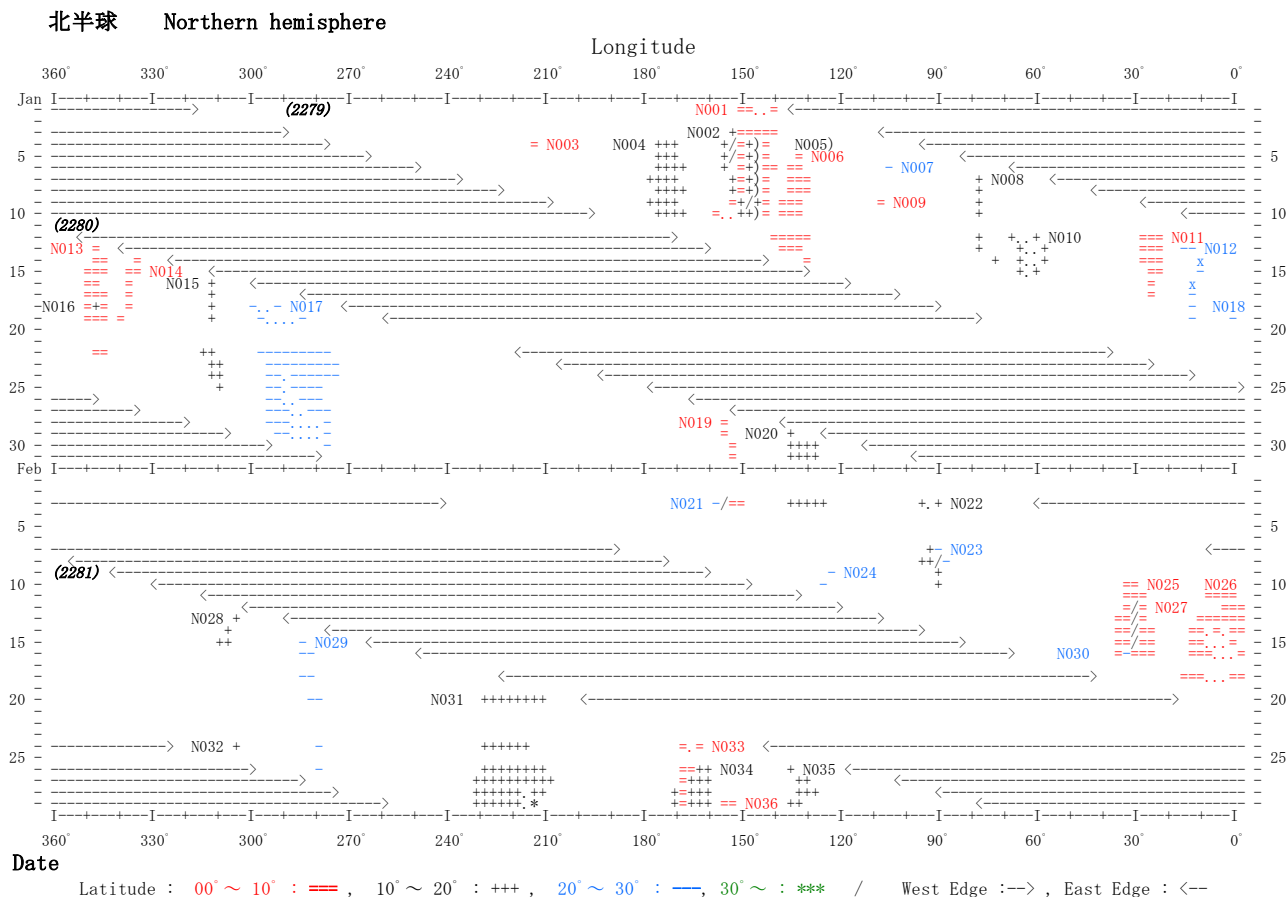
略語表  
 e: East hemisphere; w: West hemisphere; c: Center;  
 a: Appear; d: Disappear; o: Outbreak; l Lose;  
 \*: Visible to the naked eyes; uk: UnKnown; x: Not find; (p): penumbra \_: only location

#### 北半球

周期 番号	群番号 Group Number	太陽面 緯度 Lati.	太陽面 経度 Longi.	観測 初日 F. Obs.	観測 中央通過 C.M.P	観測 末日 L. Obs.	活動状況 Before C.M. Passage	活動状況 :CMP:	活動状況 After	活動状況 C.M. Passage
2280	13565	N24019	N04-07	154-156	Jan 28	Feb 03	ea A1 A3 J7 A6 - -	:B9 :-	- -	wl?
2280	13567	N24020	N15-21	127-138	29	Feb 03	ea J1 D5 D17-	- -	E15 - -	c1?
2280	13573	N24021	N20-21	156-161	Feb 03	-	-	co?	- -	C2 - - - wl?
2280	13574	N24022	N13-15	091-098	03	07	ea?	- -	D3 - -	:J3 :C4 A2 A1 wl
2280	13577	N24023	N21-22	089-095	07	07	08	eo?	- -	:A3 :B4 wcl
2280	13580	N24024	N20	126	09	-	10	-	-	wo A2 A1 wl
2280	13582	N24025	N04-06	029-036	10	12	16	eco	J6 D12:D11:D11D6	C6 J2 - wl?
2280	13583	N24026	N07-11	000-019	11	14	18	eo	D10D23E28:E22:G13F14-	F17- (p) wl?
2280	13582'	N24027	N07-09	029-034	12	12	16	-	co :J8 :D15D13D13B9	- wl?
2281	13585	N24028	N12-14	307-309	13	-	15	ea	J2 J4 A4 e1	-
2281	13586	N24029	N25-27	279-286	15	20	26	eo	J1 J3 - J2 -	:J4 :- - - J1 - J1 wl
2280	-	N24030	N25	033-034	16	-	16	-	-	wo A2 - wl?
2281	13590	N24031	N14-20	212-231	20	25	Mar 01	ea?	- F15- - - F42:-	:F46F40G39G32G15- wd?
2281	13585'	N24032	N12	304	24	-	24	-	-	wo? - - - a1 - wl?
2281	13594	N24033	N03-05	165-170	24	29	Mar 01	ea?	- J2 - J3 J3 J3	:A3 :A1 - wcl?
2281	13595	N24034	N16-20	162-173	26	29	Mar 04	eo?	- B8 C17D22:E20:E14-	G11D5 - - wl?
2281	13596	N24035	N14-19	132-137	26	Mar 02	Mar 04	ea	J4 J6 J8 J6 D6 :-	:J3 A2 - - wl?
2281	13597	N24036	N04-07	155-157	29	Mar 01	01	eco	A4 :A1 :-	c1?

\*N24027群は、AR#13582に活動した N24025群と同じ活動域に発生し、経度域も同じだが緯度に違いがあり、マグネトグラム画像でも別な群と思われた。  
 \*N24032群は、中旬に東縁側で活動したN24028とほぼ同じ位置に観測した微小群。期間が空いたので別の群として登録した。

Sunspot Drift-Chart January 2024 ~ February 2024

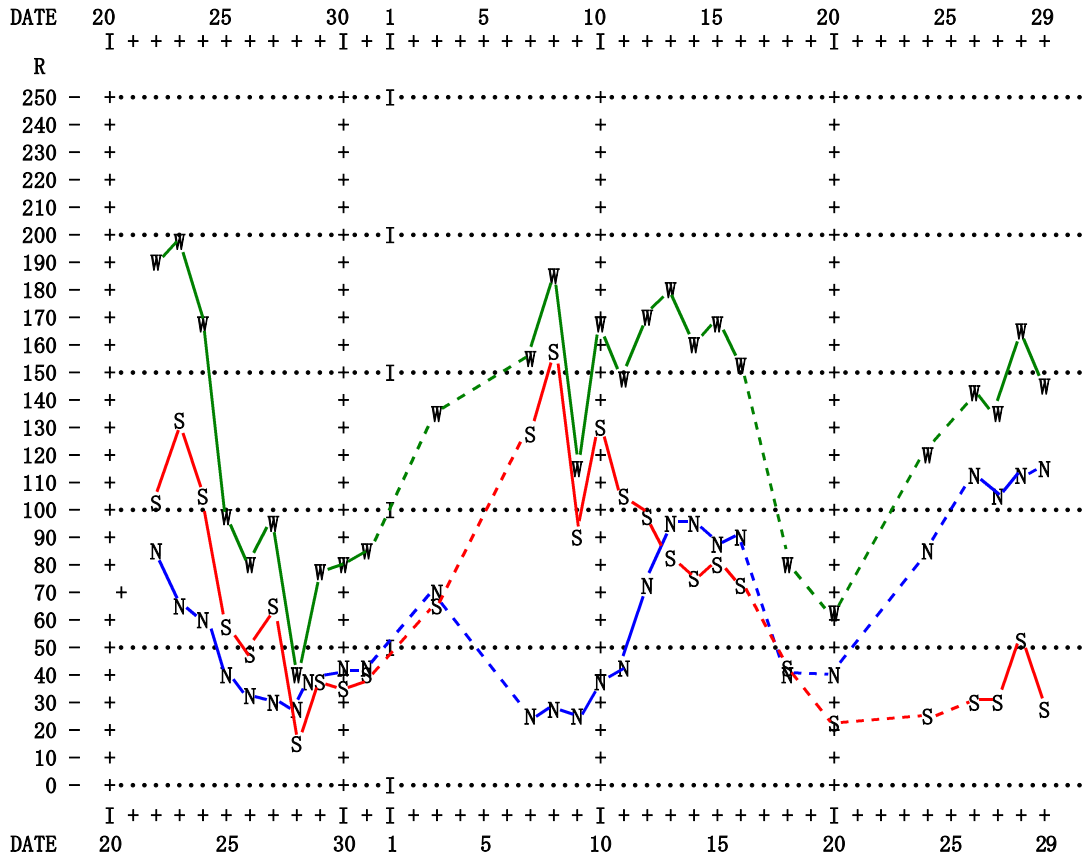




#### 4) 南北別相対数日変化図

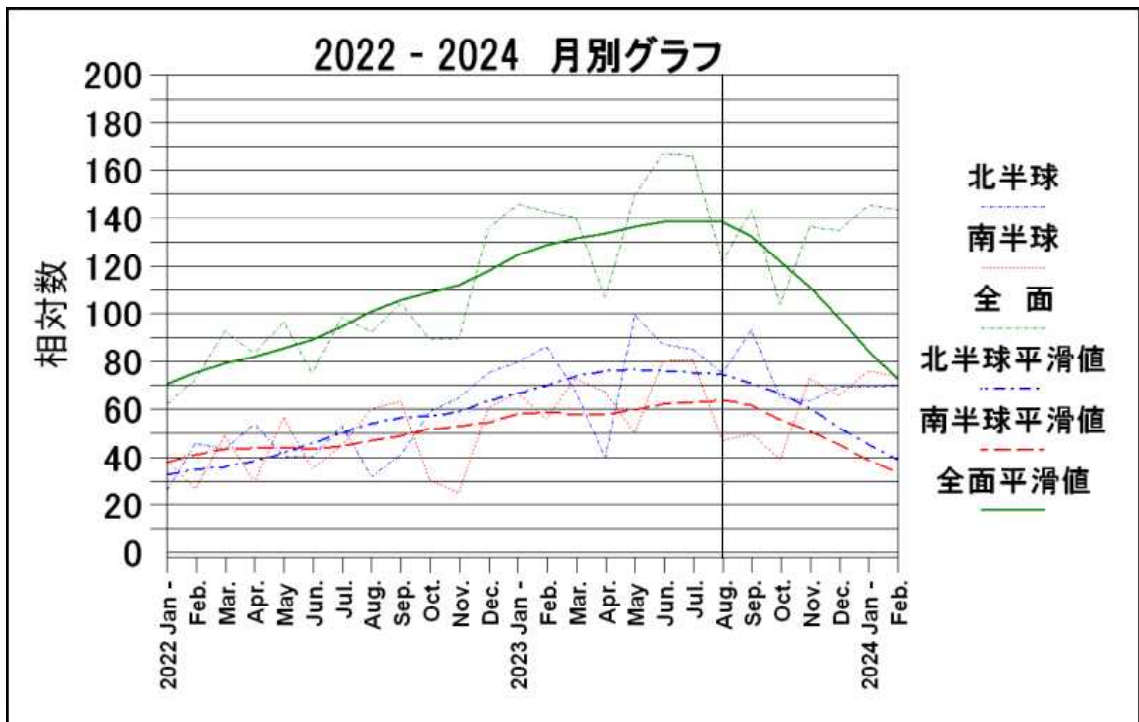
R (k=1.0)      W:全面 N:北半球 S:南半球

2024 February



#### 5) 前年からの月別相対数変化図

平滑化曲線は、13ヶ月移動平均曲線。2023 Aug. までの値が今月までの観測を反映している。



日付	時刻	北半球	南半球	全面	中心帯	相対数	視相 (/5)
Date	JST	N. Hemi- sphere	S. Hemi- sphere	Whole Disk	Central Circle Z.	Relative Number	See- ing Trans- parence
2024	h m	g f	g f	g f	g f	W.D C.Z	
Feb.							
01	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --
02	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --
03	10 40	4 29	4 25	8 54	4 18	134 58	2 3-4
04	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --
05	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --

周期 番号	群番号 GroupNo.	太陽面 緯度	太陽面 経度	観測期間 初日	中央通過 中央通過	観測期間 末日	活動状況
Ro. #	NOAA Murakami	Lati.	Longi.	F. Obs.	C. M. P	L. Obs.	1 2 3 4 5
2280	13565 N24019	N04-07	154-156	Jan 28	Feb 02	-- -->	- - B9 - -
2280	13567 N24020	N15-21	127-138	29	--	-- -->	- - E15- -
2280	13573 N24021	N20-21	156-161	Feb 03	--	-- co?	- - C2 - -
2280	13574 N24022	N13-15	093-098	03	--	-- ea?	- - D3 - -

Ro. #	NOAA Murakami	Lati.	Longi.	F. Obs.	C. M. P	L. Obs.	1 2 3 4 5
2280	13566 S24023	S12-13	251-256	Jan 29	--	31 -->	- - wd?
2280	13568 S24024	S09-11	228-231	30	--	31 -->	- - w1?
2280	13569 S24025	S12-15	187-191	30	31	31 -->	- - c1?
2280	13575 S24026	S36-39	174-181	Feb 03	--	-- wco?	- - D15- -
2280	----- S24027	S15	170	03	--	-- wco?	- - a1 - -
2280	13570 S24028	S03-06	116-122	03	--	-- eo?	- - D7 - -
2280	13571 S24029	S17-19	102-105	03	--	-- eo?	- - J2 - -

<記号説明： e:東 w:西 c:中央 o:発生 a:出現 l:消滅 d:没入 ?/uk:不明>  
 <x:観測されなかった \*:肉眼黒点群 a:A型微小群 b:B型微小群 (p):半暗部だけ >

\*この期間、関東南部は曇天傾向で、5日は南岸低気圧の接近で昼から雪となり午後には少し雪が積もった。

\*黒点活動は一日だけの観測で様子は掴めなかったが、南半球の高緯度に発生した群が珍しく発達していて特異的である。南半球東縁からは大型群が東出している。北半球は不活発な群ばかりで、小型群が多かった。

- Obs. Masami MURAKAMI: Izumi, Yokohama, Kanagawa, Japan (35° 25.2' N 139° 29.4' E)

日付	時刻	北半球	南半球	全 面	中心帯	相対数	視相 (/5)
Date	JST	N. Hemi- sphere	S. Hemi- sphere	Whole Disk	Central Circle Z.	Relative Number	See- ing parence
2024	h m	g f	g f	g f	g f	W.D C.Z	
Feb.							
06	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --
07	10 25	2 6	7 58	9 64	3 11	154 41	2 4
08	10 30	2 8	8 77	10 185	4 45	185 85	2-3 4
09	11 50	2 4	4 50	6 54	4 47	114 87	2-3 4-3
10	10 40	3 8	5 80	8 88	3 80	168 110	2-3 3-4

周期 番号	群番号 GroupNo.	太陽面 緯 度	太陽面 経 度	観 測 期 間 初日 中央通過 末日	活 動 状 況
Ro. #	NOAA Murakami	Lati.	Longi.	F. Obs. C. M. P L. Obs.	6 7 8 9 10
2280	13565 N24019	N04-07	154-156	Jan 28 Feb 02	03 --> - w1?
2280	13567 N24020	N15-21	127-138	29 --	03 --> - c1?
2280	13573 N24021	N20-21	156-161	Feb 03 --	03 --> - w1?
2280	13574 N24022	N13-15	091-098	03 07	-- --> - J3 C4 A2 A1
2280	13577 N24023	N21-22	089-095	07 07	08 eo? - A3 B4 wcl
2280	13580 N24024	N20	126	09 --	-- --
2280	----- N24025	N04-06	032-034	10 --	-- --

Ro. #	NOAA Murakami	Lati.	Longi.	F. Obs.	C. M. P	L. Obs.	6 7 8 9 10
2280	13575 S24026	S36-39	174-181	Feb 03	--	08 --> -	J4 J2 wd
2280	----- S24027	S15	170	03	--	03 --> -	w1?
2280	13570 S24028	S03-06	116-122	03	--	03 --> -	c1?
2280	13571 S24029	S17-19	102-107	03	06	-- --> -	D5 J6 C5 C3
2280	13564?S24030	S12-16	161-165	07	--	08 wo?	- C3 J1 wd
2280	13572 S24031	S14	148	07	--	08 wo?	- A1 A1 w1
2280	----- S24032	S18	143	07	--	07 wo?	- A1 w1
2280	13576 S24033	S12-22	047-064	07	10	-- ea?	- F41F56E41F72
2280	13578 S24034	S06-09	048-049	07	--	08 eo?	- J3 B5 e1
2280	13579 S24035	S10-12	038-044	08	--	--	eo B5 B3 J2
2280	13581 S24036	S21-23	004-006	08	--	--	ea J1 J1 J2
2281	----- S24037	S15-16	339-340	10	--	--	ea J1

<記号説明 : e:東 w:西 c:中央 o:発生 a:出現 l:消滅 d:没入 ?/uk:不明>  
 <x:観測されなかった \*:肉眼黒点群 a:A型微小群 b:B型微小群 (p):半暗部だけ >

\* 5日の降雪の後、天候の回復は遅れたが、以後この期間は晴天が続いた。気温は日々上がっていて空はやや霞んで春めいてきている。我が家の遅咲きの梅もつぼみがほころび始めてきた。

\* 黒点活動は南半球中心で、AR#13575の高緯度群は、西没後の9日遅くに西縁から隠れたところでX3.4のX線フレアを発生させた。東出してきたAR#13576の大型群は発達をしながら中央まで進んできた。北半球は小型群が散在するだけになっている。北半球高緯度にも白斑域が西進しているが、ここまでは黒点の発生はない。

- Obs. Masami MURAKAMI: Izumi, Yokohama, Kanagawa, Japan (35° 25.2' N 139° 29.4' E)

日付	時刻	北半球	南半球	全 面	中心帯	相対数	視相 (/5)
Date	JST	N. Hemi- sphere	S. Hemi- sphere	Whole Disk	Central Circle Z.	Relative Number	See- ing parence
2024							
Feb.	h m	g f	g f	g f	g f	W.D C.Z	
	11 11 30	2 42	5 56	7 78	3 63	148 93	2 2
	12 11 05	3 42	5 47	8 89	5 60	169 110	2 3-4
	13 11 10	4 56	4 43	8 99	5 58	179 108	3-2 4
	14 10 25	4 45	4 34	8 79	4 39	159 79	2-3 3-4
	15 10 20	5 37	5 31	10 68	3 17	168 47	3-2 3

周期	群番号	太陽面	太陽面	観 測 期 間	活 動 状 況
番号	GroupNo.	緯 度	経 度	初日 中央通過 末日	
Ro. #	NOAA Murakami	Lati.	Longi.	F. Obs. C. M. P L. Obs.	11 12 13 14 15
2280	13574 N24022	N13-15	091-098	Feb 03 07 10	--> w1
2280	13580 N24024	N20	126	09 -- 10	--> w1
2280	13582 N24025	N04-06	029-036	10 12	-- --> D12D11D11D6 C6
2280	13583 N24026	N07-11	001-013	11 14	-- eo D10D23E28E22G13
2280	13582' N24027	N07-09	029-034	12 12	-- co J8 D15D13D13
2281	13585 N24028	N12-14	307-309	13 -- --	ea J2 J4 A4
2281	13586 N24029	N26-28	284-286	15 -- --	ea J1

Ro. #	NOAA Murakami	Lati.	Longi.	F. Obs.	C. M. P	L. Obs.	11	12	13	14	15
2280	13571 S24029	S17-19	099-107	Feb 03 06	06	12	-->	J2	C3	w1	
2280	13576 S24033	S12-22	047-064	07 10	10	-- -->	F49F39F38E29E23				
2280	13579 S24035	S06-12	038-044	08 11	11	13	-->	J2	A1	a1	w1
2280	13581 S24036	S20-23	001-006	08 14	14	-- -->	J2	J3	J3	J2	J2
2281	13584 S24037	S14-16	336-338	10 --	--	-- -->	J1	J1	J1	J2	J2
2281	----- S24038	S2-22	304-306	14 --	--	--			eo	a1	A2
2281	----- S24039	S03	312-314	15 --	--	--				eo	A2

<記号説明 : e:東 w:西 c:中央 o:発生 a:出現 l:消滅 d:没入 ?/uk:不明>  
 <x:観測されなかった \*:肉眼黒点群 a:A型微小群 b:B型微小群 (p):半暗部だけ >

\*この期間は晴天傾向になったが、11日は雲間の観測だった。気圧配置は南高型で風の強い日がある春の天気となってきた。15日には日本海の低気圧に吹き込む南風で関東には春一番が吹いた。午後からは前線の南下に伴い雨雲が広がった。気温は暖気の北上で、全国的に季節はずれの高さとなり20℃を越える地点が多くあった。

\*黒点活動は、南半球の大型群が衰えながら西縁に近づいていった。北半球では低緯度に並んだ複数の双極群が西進している。南北とも東側は小型群のみになっている。

- Obs. Masami MURAKAMI: Izumi, Yokohama, Kanagawa, Japan (35° 25.2' N 139° 29.4' E)

日付	時刻	北半球	南半球	全 面	中心帯	相対数	視相 (/5)
Date	JST	N. Hemi-	S. Hemi-	Whole	Central	Relative	See- Trans-
2024		sphere	sphere	Disk	Circle Z.	Number	ing parence
Feb.	h m	g f	g f	g f	g f	W.D C.Z	
16	10 30	5 30	5 23	10 53	3 10	153 40	2 4-3
17	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --
18	11 35	2 19	3 12	5 31	2 10	81 30	2-3 2-3
19	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --	-- --
20	09 30	2 19	2 3	4 22	0 0	62 0	2 3-2

周期	群番号	太陽面	太陽面	観 測 期 間	活 動 状 況
番号	GroupNo.	緯 度	経 度	初日 中央通過 末日	
Ro. #	NOAA Murakami	Lati.	Longi.	F. Obs. C. M. P L. Obs.	16 17 18 19 20
2280	13582 N24025	N04-06	029-036	Feb 10 12	16 --> J2 - w1?
2280	13583 N24026	N07-11	000-019	11 14	18 --> F14- F17- (p) w1?
2280	13582' N24027	N07-09	029-034	12 12	16 --> B9 - w1?
2281	13585 N24028	N12-14	307-309	13 --	15 --> e1
2281	13586 N24029	N25-27	283-286	15 --	-- --> J3 - J2 - J4
2280	----- N24030	N25	033-034	16 --	16 wo A2 - w1?
2281	13590 N24031	N15-21	209-229	20 --	-- ea? - F15

Ro. #	NOAA Murakami	Lati.	Longi.	F. Obs.	C. M. P	L. Obs.	16 17 18 19 20
2280	13581 S24036	S20-23	001-006	Feb 08	14	-- -->	J2 - J2 - A1
2281	13584 S24037	S14-16	332-339	10	16	-- -->	J2 - B7 - B2
2281	13587 S24038	S20-22	303-308	14	--	18 -->	A6 - B3 - c1?
2281	13588 S24039	S03	312-314	15	--	15 -->	e1
2280	13589 S24040	S07-09	031-039	16	--	16 wo	B6 - w1?

<記号説明 : e:東 w:西 c:中央 o:発生 a:出現 l:消滅 d:没入 ?/uk:不明>  
 <x:観測されなかった \*:肉眼黒点群 a:A型微小群 b:B型微小群 (p):半暗部だけ >

\*この期間、天気の変化は早く15日に春一番を吹かせた低気圧が東へ抜けた後、17日には北高型の高気圧の後になり、南海上の停滞前線の雲が広がった。19日には日本海に気圧の谷が進んで来て暖気が北上して、北海道の各地で2月の最高気温の記録を更新した。20日には南風が再び強まり、関東各地では夏日のところがあるので気温が高くなった。

\*黒点活動は、あまり活発でなく、北半球低緯度の双極群が西縁近くに進んでいたほかは小型群ばかりであった。19日に北半球に東出してきたと思われる大型群があり20日には東縁で大きな姿を現して来ている。

- Obs. Masami MURAKAMI: Izumi, Yokohama, Kanagawa, Japan (35° 25.2' N 139° 29.4' E)



日付	時刻	北半球		南半球		全 面		中心帯		相対数		視相 (/5)	
Date	JST	N. Hemi-		S. Hemi-		Whole		Central		Relative		See-	Trans-
2024		sphere		sphere		Disk		Circle Z.		Number		ing	parence
Feb.	h m	g	f	g	f	g	f	g	f	W.D	C.Z		
21	-- --	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----
22	-- --	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----
23	-- --	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----
24	10 55	4	46	3	5	7	51	1	35	121	45	2-3	3-4
25	-- --	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----	--	----

周期	群番号	太陽面	太陽面	観 測 期 間			活 動 状 況						
番号	GroupNo.	緯 度	経 度	初日	中央通過	末日							
Ro. #	NOAA Murakami	Lati.	Longi.	F. Obs.	C. M. P	L. Obs.	21	22	23	24	25		
2281	13586 N24029	N25-27	283-286	Feb 15	20	-- -->	-	-	-	J1	-		
2281	13590 N24031	N15-20	214-230	20	--	-- -->	-	-	-	F42-			
2281	13585' N24032	N12	304	24	--	-- wo?	-	-	-	a1	-		
2281	13594 N24033	N03-05	165-169	24	--	--				ea?	-	J2	-
Ro. #	NOAA Murakami	Lati.	Longi.	F. Obs.	C. M. P	L. Obs.	21	22	23	24	25		
2280	13581 S24036	S20-23	001-006	Feb 08	14	20 -->	w1?						
2281	13584 S24037	S14-16	332-339	10	16	20 -->	-	-	w1?				
2281	13593 S24041	S05-06	301-302	24	--	-- wo?	-	-	-	A1	-		
2281	13592 S24042	S12-16	163-170	24	--	--				ea?	-	D3	-
2281	13591 S24043	S36-37	164-166	24	--	--				ea?	-	J1	-

<記号説明 : e:東 w:西 c:中央 o:発生 a:出現 l:消滅 d:没入 ?/uk:不明>  
 <x:観測されなかった \*:肉眼黒点群 a:A型微小群 b:B型微小群 (p):半暗部だけ >

\*この期間、南海上の停滞前線の影響で曇天傾向となった。25日には南岸低気圧の接近で雨となり、観測できた日数は僅か一日だった。気候も冬に逆戻りで気温の低い日が続いている。

\*黒点活動は、北半球の大型群が、X線フレアを連発して、23日UTには、X6.3の現サイクル最大のフレアが発生した。しかし同時にC M Eの発生が見られずに不思議な現象として注目されている。他は南北とも不活発な領域に差し掛かっている、群数が少なくなっている。

23日からは東縁から活動域が出てきていて、S24043群は高緯度黒点には珍しく、上旬に観測したS24026群の回帰した群と思われる。また、N24032群は、中旬に東縁側で活動したN24028とほぼ同じ位置に観測した微小群。再発生と思われるが、期間が空いたので別の群として登録した。

- Obs. Masami MURAKAMI: Izumi, Yokohama, Kanagawa, Japan (35° 25.2' N 139° 29.4' E)

日付	時刻	北半球	南半球	全面	中心帯	相対数	視相 (/5)
Date	JST	N. Hemi-	S. Hemi-	Whole	Central	Relative	See- Trans-
2024		sphere	sphere	Disk	Circle Z.	Number	ing parence
Feb.	h m	g f	g f	g f	g f	W.D C.Z	
	26 11 10	5 62	2 11	7 73	1 37	143 47	3-2 4
	27 11 00	4 66	2 9	6 75	3 9	135 39	2 4
	28 10 45	4 72	4 13	8 85	4 22	165 62	2 3-4
	29 10 40	5 65	2 7	7 72	5 34	142 84	2-3 2-3

周期	群番号	太陽面	太陽面	観測期間	活動状況
番号	GroupNo.	緯度	経度	初日 中央通過 末日	
Ro. #	NOAA Murakami	Lati.	Longi.	F. Obs. C. M. P L. Obs.	26 27 28 29
2281	13586 N24029	N25-27	279-286	Feb 15 20	26 --> J1 w1
2281	13590 N24031	N14-20	212-231	20 25	-- --> F46F40G39G32
2281	13585' N24032	N12	304	24 --	24 --> w1?
2281	13594 N24033	N03-05	165-170	24 29	-- --> J3 J3 J3 A3
2281	13595 N24034	N16-20	162-173	26 29	-- eo? B8 C17D22E20
2281	13596 N24035	N14-19	132-137	26 --	-- ea J4 J6 J8 J6
2281	13597 N24036	N04-07	155-157	29 --	-- eco A4

Ro. #	NOAA Murakami	Lati.	Longi.	F. Obs.	C. M. P	L. Obs.	26 27 28 29
2281	13593 S24041	S05-06	301-302	Feb 24	--	24 --> w1?	
2281	13592 S24042	S12-16	163-171	24 --	--	28 --> D10C8 B10 ecl	
2281	13591 S24043	S35-37	163-166	24 29	-- --> J1 J1 J1 J3		
2281	----- S24044	S19	222	28 --	--	28 wo a1 w1	
2281	----- S24045	S19	163	28 --	--	28 eco a1 ecl	
2280	13598 S24046	S13-14	175-180	29 --	--	-- wco B4	

<記号説明： e:東 w:西 c:中央 o:発生 a:出現 l:消滅 d:没入 ?/uk:不明>

<x:観測されなかった \*:肉眼黒点群 a:A型微小群 b:B型微小群 (p):半暗部だけ >

\*この期間、南岸低気圧の通過後には、冬型の気圧配置となり晴天が続いたが、風が強かった。29日には早くも東シナ海に低気圧が進んできて、天気は下り坂となる。天気の変化が早くなっている。

\*黒点活動は、北半球の大型群が衰えながら西進を続けている。北半球には他にも双極群があり賑やかだが、南半球は小型群ばかりで、群数も少なく淋しくなっている。ただ、月初めに活動した、高緯度の回帰群があまり姿を変えずに西進を続けている。

- Obs. Masami MURAKAMI: Izumi, Yokohama, Kanagawa, Japan (35° 25.2' N 139° 29.4' E)